



今宿小学校 学校だより



令和5年度11月号 令和5年10月31日発行 校長 奥谷 みさ

富士山の雪化粧が日に日に変化し、季節の移り変わりを目で、そして肌でも感じる頃となりました。10月には前期終業式、後期始業式を体育館にて行うことができました。全校児童と儀式を体育館で行うのは、今宿に赴任して初めてとなりました。3年目にしてやっと叫びました。式を始めるとともに、体育館は静寂につつまれ、子どもたちの話を聴こうという真剣な眼差しがとても眩しかったです。とても落ち着いた終業式、始業式を終えることができました。後期も、職員一同、力を合わせて子どもたちの成長を支えていきます。

保護者の皆様、地域の皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

お話朝会 「こころのコップ」 10月17日に、お話朝会を行いました。

子どもたちの間では、何気なくかけた言葉から、気持ちがぶつかり合い手をだしてしまうなど、関係づくりの中で難しい場面が見られます。友達の言葉によって気持ちが落ち込んでしまったり、心の元気を保てなくなったり。集団での生活に不安をもつ子どもたちの姿も見られます。

色んなぶつかり合いを経験しながら成長していくことは確かです。しかし、次の一步を踏み出せないくらい大きなダメージを与える言葉がけや態度をしてしまっていること、小さなことでもそれが積み重なることで人を傷つけてしまうことがあることを、子どもたちに伝えたい。「いじめはゆるされない。」その思いを強くもってほしい。そんな思いを込めて、「こころのコップ」の話をしました。



ヒトには、ひとりひとりに心があります。もちろん、あなたにも。心は、ひとりひとりがもっている大切なものです。でも、心はだれにも見えません。もちろん、じぶんにも見えません。

みんなの大切な心には、「こころのコップ」といわれるコップがあります。心にあるので「こころのコップ」も、だれにも見えません。どのくらい大きさかどんな形なのかも分かりません。

「こころのコップ」が空っぽなときは、心が元気なとき。ポカポカあたたかかったり、カラッと晴れやかな気持ちだったり。けれど「こころのコップ」には、その人が『辛い、悲しい、苦しい』と思うと、どこからか水がたまってしまいます。とてもイヤな気持ちのときはたくさんの水が、ちょっとイヤなときも、水がたまっていきます。「ちょっとイヤなこと」でも、何回も何回もずっと続くと、コップに水がどんどんたまっていきます。

ぽちゃん…ぽちゃん…。 どうしよう もう、あふれちゃう。

「こころのコップ」から水があふれたとき、その心のもちぬしは、

いろんなことにイライラ ムカムカして暴れてしまったり、自分や周りの人を傷つけてしまったり…

涙があふれて、悲しい気持ちがとまらなくなったり… 学校に行きたくないそんな気持ちがおしよせたり

いつも楽しかったことへのやる気もなく… ごはんをたべる元気もなくなって、生きる元気がなくなってしまうことも、..

どうすれば「こころのコップ」に水がたまらなくなるのだろう。 ともだちのコップに水をいれてないかな。

水があふれそうになったらどうしよう。 たいせつな、みんなの、「こころのコップ」。見ることはできないけれども、感じることはできるはず。「こころのコップ」のことを、感じて、どうしていきたいか、考えてみてください。

子どもたちは、感じたことを直接話しかけてくれたり、教室で記したり、考える時間をもてたようです。今後も引き続き子どもたちの心の成長を、職員一同、そして保護者の皆様のご協力のもと進めていきたいと思ひます。

4年生の活動の成果が今宿地区のあちこちで花開きました。

今宿地区のゴミステーションに、4年生ひとりひとりが描いたポスターが掲示されました。そして、茅ヶ崎市ではスクールエコアクション活動展として、映像となって発表されます。上映予定は次のようになっています。

上映日	時間	会場
11/6(月)~10(金)	8:30~17:15	茅ヶ崎市役所1階市民ふれあいプラザ(140インチモニター)
11/12(日)	10:00~15:00	茅ヶ崎市役所1階市民ふれあいプラザ(140インチモニター)
11/18(土)	10:00~16:00	イオン茅ヶ崎中央店1階催事スペース

子どもたちの頑張りを、地域の中で、そして市のイベントでと、様々な場面で見ていただけることを願っています。